

# SUNTORY

## SUNTORY BEVERAGE & FOOD

No.SBF1412 (2023.9.1)

### 「サントリー天然水」2Lのペットボトル 全数に植物由来素材を30%導入

- 新規化石由来原料の使用量を1本あたり「約9g」削減、  
水だけでなく、容器のサステナビリティにも取り組む —



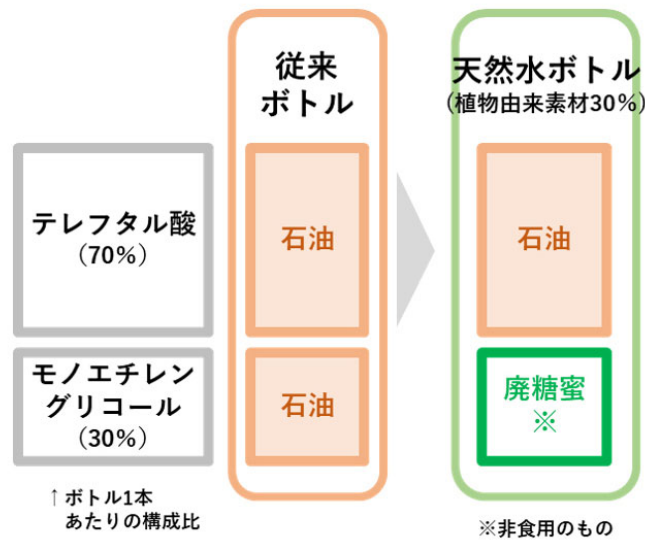
この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/> に掲載しています。

サントリー食品インターナショナル（株）は、「サントリー天然水」ブランドの基幹商品であるナチュラルミネラルウォーター「サントリー天然水」2Lのペットボトル全数に、植物由来素材<sup>※1</sup>を30%使用したペットボトルを導入しました。

※1 原料はフードチェーンに影響を与えない廃糖蜜由来の素材を使用

植物由来素材30%使用のペットボトルは、2013年より「サントリー天然水」550ml ペットボトル<sup>※2</sup>において導入してきましたが、今年4月より「サントリー天然水」2Lペットボトルにも順次導入を開始し、このたび9月の製造分より全数導入が完了し、ナチュラルミネラルウォーター「サントリー天然水」の主要容器の大半が、植物由来素材30%使用のペットボトルとなりました。

※2 一部の自動販売機対応商品は除く



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/> に掲載しています。  
 ペットボトルは、「テレフタル酸」が原料の70%、「モノエチレングリコール」が30%で構成されています

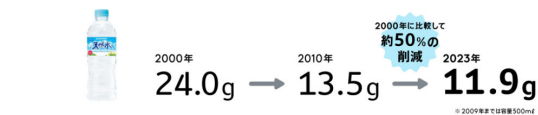
### ■新規化石由来原料を1本あたり約9g削減

サントリーグループでは、2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルに化石由来原料の新規使用をゼロにするという「ペットボトルの100%サステナブル化」を目指しており、Reduce（使う量を減らす）、Recycle（再資源化して使う）、Bio（植物由来の資源を使う）を表す「2R+B」戦略に基づき、さまざまな取組みを実施し、新規化石由来原料の使用量削減を進めています。

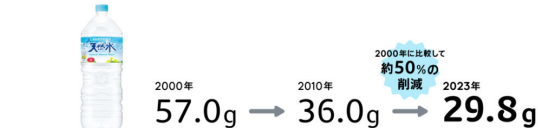
「サントリー天然水」ブランドでは、これまでペットボトルの軽量化を進めており、2Lペットボトルでは、2000年の57.0gから現在では29.8gまで軽量化を実現していますが、さらに今回、ペットボトル重量のうち30%分を植物由来素材に切り替えることにより、ペットボトル1本あたり約9gの新規化石由来原料を削減しました。これらの活動により、1本あたりの新規化石由来原料の使用量は、2000年と比較すると、約6割も削減しています。

〈550ml・2Lペットボトル軽量化変遷〉

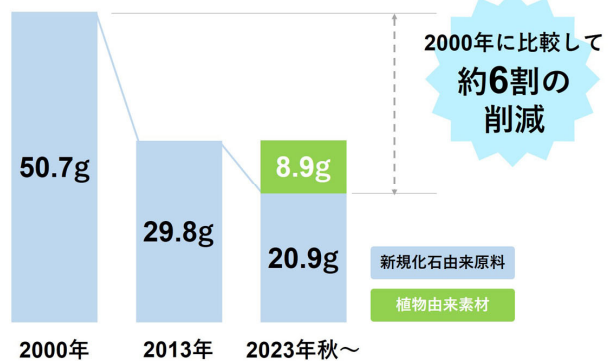
「サントリー天然水」550mlの軽量化の変遷<sup>※1</sup>



「サントリー天然水」2Lの軽量化の変遷



〈2Lペットボトル1本あたりの新規石油由来原料使用量〉



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/> に掲載しています。

## ■「サントリー天然水」の容器・包装における環境取り組みについて

「サントリー天然水」ブランドでは、ペットボトル以外にも、国産最薄の $12\mu\text{m}$ <sup>※3</sup>のラベルを採用していることに加え、「サントリー天然水」550ml ペットボトルでは国産最軽量<sup>※4</sup>となる1.85gのキャップを使用するなどさまざまな取り組みを実施しています。

また、近年では、容器・包装自体の環境負荷低減の取り組みに加え、ラベルを剥がす手間を省くラベルレス商品の展開や、飲み終わった空容器が、約6分の1のサイズまで“小さく、たたみやすい”新容器を「サントリー天然水」2Lペットボトルに導入するなど、分別促進を促すような取り組みも実施することで、より質の高いペットボトルの資源循環にも役立ちたいと考えています。

※3  $1\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1

※4 2023年8月当社調べ



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/>に掲載しています。

清涼飲料市場において国内No.1ブランド<sup>※5</sup>である「サントリー天然水」ブランドは、発売以来お届けしている“清らかで冷たく、安全安心な水”を未来までつなぎ、ずっとずっと水と生きてゆくために、サントリーグループで取り組んでいるウォーター・ポジティブ<sup>※6</sup>活動など「水のサステナビリティ」に関する活動に加え、容器のサステナブルボトル<sup>※7</sup>化を含む「容器のサステナビリティ」にも取り組むことを通じて、いつまでもお客様に必要とされるブランドでありたいと考えています。

※5 当社調べ

※6 サントリーグループでは、取水量以上の水を水系に育むことを「ウォーター・ポジティブ」と考えています。サントリーグループは国内工場における節水活動に加え、国内工場で汲み上げる地下水量の2倍以上の水を涵養する「サントリー 天然水の森」活動を実施しており、日本国内での「ウォーター・ポジティブ」を実現しています。

※7 サステナブルボトルとは、サントリーグループでは、リサイクル素材使用比率50%以上または植物由来素材等使用比率25%以上のペットボトルを「サステナブルボトル」と定義しています。

#### ■「サントリー天然水」ブランド 容器・包装に関する主な取り組み

- 2013年 2月 国産最軽量※となる29.8gの2Lペットボトルを「サントリー天然水」2Lペットボトルに導入
- 2013年 5月 植物由来原料を30%使用した国産最軽量※(11.3g)ペットボトルを「サントリー天然水」550mlペットボトルに導入
- 2014年 4月 国産最薄※12 $\mu$ mのロールラベルを「サントリー天然水」2Lペットボトルに導入
- 2016年 1月 世界初！植物由来原料30%使用したキャップを「サントリー天然水」550mlペットボトルに導入
- 2016年 9月 植物由来原料を30%使用した国産最軽量※となる1.85gのキャップを「サントリー天然水」550mlペットボトルに導入
- 2023年 4月 飲み終わった空容器が、約6分の1のサイズまで“小さく、たたみやすい”新容器を「サントリー天然水」2Lペットボトルに導入
- 2023年 4月 植物由来原料を30%使用したペットボトルを「サントリー天然水」2Lペットボトルに導入開始、9月製造分から全数導入完了

※いずれも導入時点

#### ▼「サントリー天然水」ホームページ

<http://suntory.jp/tennensui/>

#### ▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリー食品インターナショナルホームページ <http://suntory.jp/sbf/>

以 上

## 水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。  
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。  
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。  
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。